

無料

令和4年度 環境科学 セミナー



この講座は、あおもり県民カレッジの単位として認められます。
1回につき2単位



放射線に関する調査内容や活動状況についてご紹介します。

「トリチウムってなに？」

～トリチウム研究センターが目指すもの～

環境科学技術研究所
トリチウム研究センター センター長
茨城大学理工学研究科(理学野) 生物科学領域教授

田内 広

Hiroshi Tauchi 1962年広島市出身。

高校教諭を経て1989年から2001年まで広島大学原爆放射能医学研究所に勤務、2001年に茨城大学に赴任し現在に至る。放射線生物学を専門とし、(一社)日本放射線影響学会・評議員を務める。経済産業省「トリチウム水タスクフォース」および「多核種除去設備等処理水の取扱いに関する小委員会」委員を歴任。2022年より環境科学技術研究所トリチウム研究センター長を併任。

●「地域と共に歩む ～共創センターが目指すもの～」

環境科学技術研究所 共創センター センター長 三谷 啓志

●海のデータを使おう～海洋のSDGsと日本海洋科学振興財団～

日本海洋科学振興財団 むつ海洋研究所所長 渡邊 修一

日時

令和4年

10月13日(木)

13時30分～15時30分(開場13時)

会場

六ヶ所村文化交流プラザ スワニー 大会議室1～4
上北郡六ヶ所村尾駸野附1-8 ☎TEL 0175-72-3400

お申し込み方法

参加をご希望の方は、裏面のがきに住所、氏名等を記入して郵送またはFAXでお申し込みください。電子メール、ホームページからのお申し込みも可能です。

新型コロナウイルス感染症対策について

- ・会場では感染防止対策を徹底します。
- ・事前に参加登録をして頂くようご協力をお願いします。
- ・当日発熱や風邪症状がみられる方は参加の自粛をお願いします。
- ・会場ではマスク着用、手指の消毒につきましてご協力をお願いします。
- ・感染状況により中止する場合がございます。



お申込み・お問合せ:公益財団法人 環境科学技術研究所 共創センター

TEL.0175-71-1240 FAX.0175-71-1270

〒039-3212 上北郡六ヶ所村尾駸家ノ前 1-7 [ホームページ](https://www.ies.or.jp/) <https://www.ies.or.jp/> [電子メール](mailto:kanken@ies.or.jp) kanken@ies.or.jp

主催: 青森県 (公財)環境科学技術研究所 (公財)日本海洋科学振興財団

FAX 送信の場合 0175-71-1270へ

・本はがきで収集した個人情報、本報告会の運営に関する当研究所からのご連絡やご案内にのみ利用いたします。

(キリトリ線)

郵便はがき

0393290



差出有効期間
令和4年10月12日
(切手不要)

上北郡六ヶ所村
尾駸家ノ前一番七

公益財団法人
環境科学技術研究所
共創センター 共創推進課 行

お名前		フリガナ	
〒		参加人数	
住所		人	
環境科学セミナー (六ヶ所会場)			
電話番号 ()			

放射線に関する事など聞きたいことをお寄せください。

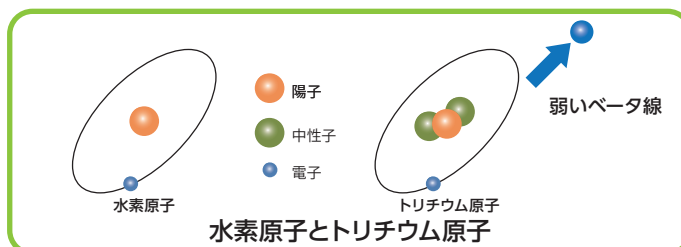


(裏にマキ)

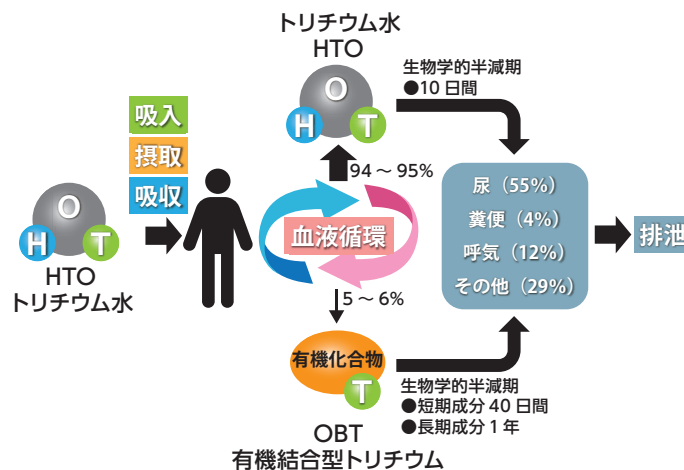
トリチウムの生体影響について調べています

再処理工場からは、通常の運転時でも水素の放射性同位体であるトリチウムが空気中や海に排出されます。

排出されるトリチウムによる人体への放射線被ばく量は自然放射線より少ないとされていますが、より詳しく評価するため、環境科学技術研究所（六ヶ所村）では、新たにトリチウム研究センターを立ち上げ、これまでの環境中でのトリチウムの動きに関する調査に加え、トリチウム水（HTO）、有機結合型トリチウム（OBT）といった化合物の違いと生体への影響との関係の解明に関する研究を行っています。



トリチウムは水素の仲間であり、そのほとんどがトリチウム水として存在しています。トリチウムから出る放射線は弱いベータ線のみですので、内部被ばくが考慮すべき課題になります。内部被ばく量は、トリチウムが水である場合と有機結合型である場合で違いが出るとされていますが、現在の基準は体内への滞在時間の推定に基づく代表値になっています。環境科学技術研究所では、化合物ごとの詳細な解析に取り組みます。



日本放射線影響学会「トリチウムによる健康影響」より

調査の詳細はホームページ (<https://www.aomori-hb.jp/>) をご覧ください。